

### 単元名（教材名）

天皇を中心とした政治 「東大寺の大仏づくり」（日本文教出版 『小学社会6年』）



### 本時の目標

当時の人々が東大寺の大仏をどのようにつくったかについて、図や年表などの資料を読み取り、理解することができる。 【知識及び技能】

### 読解力向上プランVer. 2における指導のポイント

⑦見たことを正確に文章にしたり、絵に描いたりする活動をさせる。（イメージ同定）

	学習活動	指導上の工夫
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東大寺の大仏」について、学校の校舎と大仏を並べた写真を見たり大仏の手のひらと同じ大きさの紙の上に乗ったりすることでその大きさを実感し、「こんなに大きな大仏を、当時の人々はどのようにつくったのだろう」という学習問題をたてる。</li> <li>・ 学習問題を共書きする。</li> </ul>	
展開	<p>(1)教科書p78「①大仏づくりのようすと大仏のつくり方」を見て、絵から読み取れることを発表する。</p> <p>(2)大仏づくりについて更に詳しく調べるため、教科書p79「全国から集められた人や物資」の図や、p77「聖武天皇の生がい」の年表を読みとる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵から読み取れることを正確に表現するように指示する。</li> <li>・絵から読み取れたことをもとに、疑問に思うこと、調べてみたいと思うことを発表させる。</li> <li>・「どれくらいの人々が大仏づくりのために働いたのだろう」「大仏をつくるために必要な原料をどのように手に入れたのだろう」「大仏の完成まで、どれくらいかかったのだろう」という疑問を解決するためには、教科書に掲載されているどの資料を読み取ればよいかをまず考えさせる。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習問題に対する答えを個人でまとめ、日本全国から集められた260万人の人々が大仏づくりに従事したこと、全国から集められた銅、すずなどの資源を原料としたこと、完成までに9年かかったこと等を確認する。</li> <li>○大仏づくりが大がかりなものであったことを理解し、「なぜ聖武天皇は大仏をつくることにこだわったのだろう」という問いをもつ。</li> </ul>	

T:この資料からわかることを教えてください。  
 C:物資が日本各地から集められていました。  
 T:もう少し詳しく教えてください。  
 どこから集められましたか。  
 C:全国からです。（図の題から判断したのか）  
 C:全国とは、どこからどこまでですか。  
 C:北海道から沖縄です。  
 T:この資料から、物資が北海道や沖縄から集められているように読み取れますか。  
 C:いいえ。東北地方から九州地方にわたる地域から集められていることが読み取れます。



図「全国から集められた人や物資」

### ◇実践のポイント◇

絵や図、年表から読み取ったことを児童に発表させて、情報が不足していたり正確でなかったりするとき、指導者が引き取って発表者に代わって説明するのではなく、「もう少し詳しく話して」と発表者に指示をしたり正確に表現するよう促したりすることが大切です。